

BODY EDGE BINDING



D-55



D-50



D-40



D-35



D-25

ACCESSORIES



CASES



HISTORY OF CATALOGS



プロの、プロによる、プロのための銘器—Guild

Guildの設立は1952年ニューヨーク、ギターメーカーとしてはそう古株とはいえません。ただし、クラシックギター奏者、楽器店経営者、そしてギター教師でもあったAlfred Dronge氏を中心に集まった5人のメンバーは、その職人経歴の合計が実に200年をこすという超ベテラン達でした。当初はミュージシャン達の注文に応じた限定生産をしていましたが、その名声の広まるにつれ、1956年ニュージャージー州Hobokenを経て1969年現在のロードアイランド州、Westerlyに工場を構えました。

創立以来30年のプロセスの中で強調すべきことは、「GuildはGuild以下のものを決してつくらなかった」という自負でしょう。

Guildの特質は、その手工作品特有の細やかさと、固すぎもせず甘すぎもしないバランスに富んだ音色にあります。

加えてその弾きやすさはあたかも弾く指が押える指を、押える指が弾く指を、たがいに高めあうような自在さを感じさせます。

プレイヤーの心で手造りされたこの銘器をご紹介できることは今日、我々の大きな誇りです。

「ほんものの職人は、たまにしか笑わない」
手工ギターの完全主義者 Guild

Guildはおそらく世界中で一番多くの熟達した手によって完成されるギターでしょう。

ロードアイランド州Westerlyの工場を訪れる人々は、その工程の中で機械の占める役割のきわめて少ないことにまず驚かされます。ネックのシェイプ、ベンディング、ナット締め、ダグティル(木材の継ぎ)、主要工程のほとんどが200人の職人たちの鋭い目と手によってなされ、機械は彼らの技術を100%発揮するための補助的な役割しかうけていません。

サウンドボードに用いるアラスカ産のエゾマツ、フレットボードやブリッジ用の東インド産ローズウッドは厳選され、精密に湿度を計られ、ナンバーをうって分類されます。職人たちはそれぞれ木工、楽器設計、仕上などの分野の専門家であつて一つの工程においてみじんの妥協も許しません。

こうして仕上がったギターは、さらに、優秀なプレイヤーでもある彼等の手によって一台ごとに厳重なチェックを課せられ、音色・仕上・強度・弾き心地が試されます。

Guildの名を冠すべきでない品はこの段階ですべて捨てられるわけです。

長い工程の後、ほんものの手工の伝統が鳴り響く、これらGuildをケースにおさめます。きびしい職人たちの顔がこのとき初めてほころびます。

ほんものの職人はたまにしか笑わないのです。

SERIAL NUMBERS 1960 to 1979

YEAR	From:	To:	YEAR	From:	To:
1960	12035	14713	1970	46696	50978
1961	14714	18419	1971	50979	61463
1962	18420	22722	1972	61464	75602
1963	22723	28943	1973	75603	95496
1964	28944	38636	1974	95497	112803
1965	38637	46606	1975	112804	130304
1966	46607	46608	1976	130305	149625
1967	46609	46637	1977	149626	169867
1968	46638	46656	1978	169868	195067
1969	46657	46695	1979	195068	221825

※1965～1969、1980以降は品番別のナンバーになっております。

